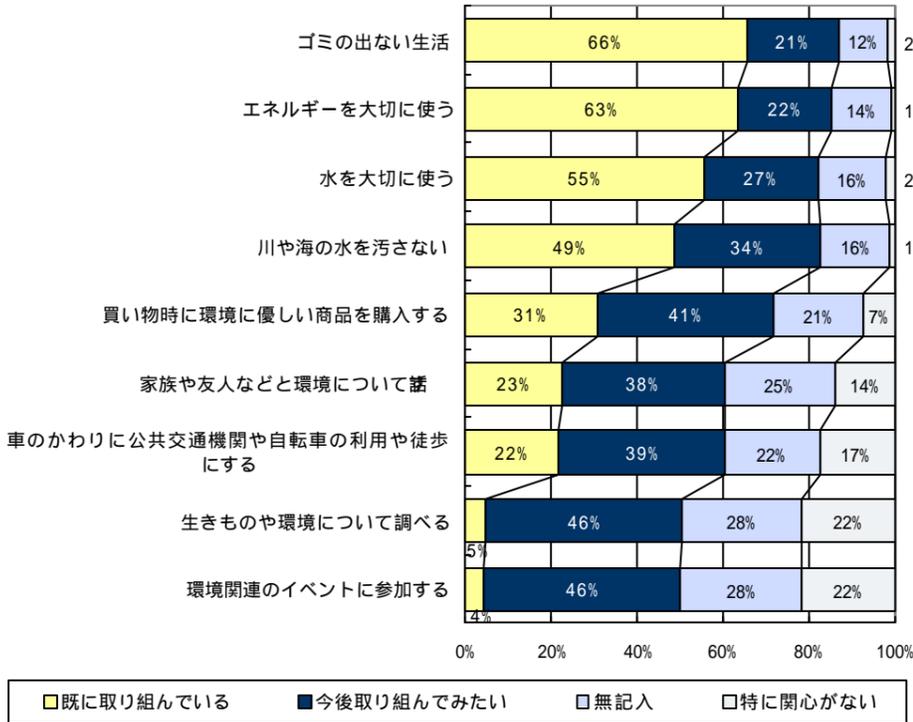


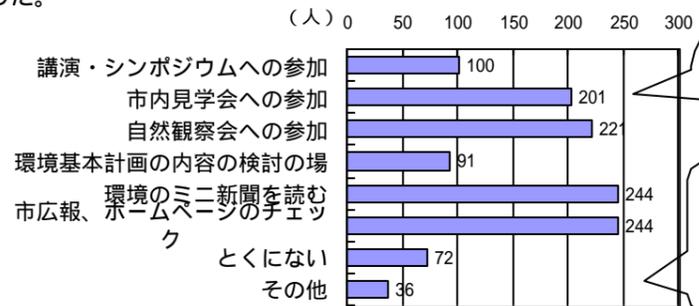
環境のためにやっていること

「環境のためにやっていること・やってみたいこと」について質問したところ、「ゴミのでない生活」、「エネルギーを大切に使う」で「既に取り組んでいる」市民が回答者の6割以上を占め、「今後取り組んでみたい」もあわせると8割以上になります。ゴミやエネルギーに関する市民の取り組みの浸透と関心の高さがうかがえます。



参加してみたいこと

自分が「環境基本計画」づくりに参加するとしたらどのような形であれば「参加したい」あるいは「参加できる」と思うかを聞いてみました。結果、ミニ新聞や市広報・ホームページ、見学会や観察会などが多く選ばれました。

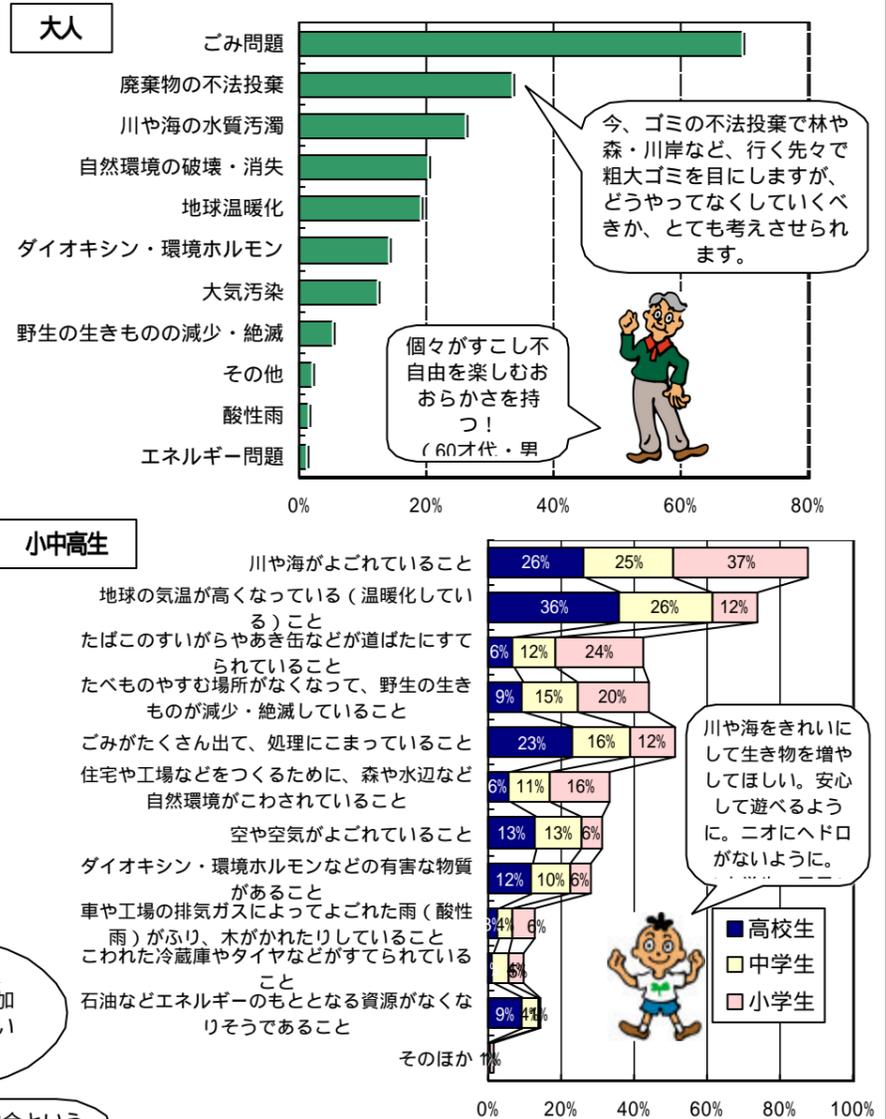


子どもとともに、楽しみながら参加できるものが多いです。

シンポジウムや見学会というよりも市民で公園を掃除したりして、体験しながら環境・ゴミ問題を考えるようにした方がよい。考えるだけでは結果につながらない。

関心のある環境問題は...ごみ！

「関心のある環境問題はなんですか？」という質問に対する答えは、圧倒的に「ごみ問題」をあげる人が多い結果となりました。一方、小学生は「川や海がよごれていること」、高校生は「地球の気温が高くなっていること」が一番関心あることとして選ばれています。また、中学生はどちらも同じ位関心があるようです。



『環境基本計画』ってなに？

本市における望ましい環境づくりのための基本的な考え方を示すものです。海・山・川などの自然、ごみ、水、大気、エネルギー、環境教育等々、環境に関わるあらゆることが計画の対象となります。

来てみませんか？『なると環境市民会議』

『なると環境市民会議』では、身近な自然環境のこと、ごみのこと、景観のこと、大気や水質の汚れのこと、環境ホルモンのこと、地球温暖化のことなど、環境に関係することなら何でもアリ!で意見交換をします。

皆さんからのご意見は、現在作成中の「鳴門市環境基本計画」に反映していきます。

この機会にぜひ、鳴門市の環境について皆と一緒に考えてみませんか？



身近な環境に？と
思っているあなた！

開催日：平成15年3月頃～8月頃を予定
開催時間：平日夜を予定
開催回数：4回程度
開催場所：市役所会議室(予定)
募集人数：30人
応募条件：鳴門市在住、在勤、在学の高校生以上の方

申し込み締切り
平成15年1月17日(金)

なるとの自然

カモ

毎年寒い季節になると、旧吉野川やウチノ海には多くのカモの仲間がやってきます。カモのオスは種ごとに特徴的な羽の模様をしていてとてもカラフルです。

カモの仲間はちがう種との間に雑種が生まれやすいグループとされていますが、彼らのカラフルな体の模様は同じ種を見分けるのに役に立っているようです。

カモの観察をしていると、姿だけではなく、食べ物や行動も種ごとの違いがあることに気づきます。

頭を水の中につっこんで水底から餌を探す**オナガガモ**、水面で餌をこし取る**ハシビロガモ**、水中に潜って餌をとる**ホシハジロ**といった具合です。探している餌も草の種子、水草や海藻、貝、魚と違います。そのため、私たちが陸上から見て同じような池に見えても、水草の多い池では**ヒドリガモ**が多いとか、小魚が多い池や内湾では**ウミアイサ**を見かけるといふように、やってくるカモの種は違うことがあります。



ヒドリガモ



オナガガモ

この新聞、環境に関することなど、ご意見・ご感想をおよせください!!

鳴門市環境衛生部環境課

